

主な実施内容（2024年4月～2025年3月）

日 時	主な実施内容	実施機関など
4月8日	病児・病後児WG会議開催（計11回）（奈良女子大学と合同 4/25、5/24）	武庫川女子大学
4月24日	第29回病児・病後児WG会議（7/17 第30回、10/16 第31回、1/29 第32回）	奈良女子大学
4月	研究支援員制度により研究支援員を配置	武庫川女子大学
4月	教育研究支援員Ⅰ期（5月～9月）を配置	奈良女子大学
5月10日	第37回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関
5月16日	「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」第4回意見交換会	代表機関・共同実施機関
5月28日	令和6年度共同研究スタートアップ支援経費募集開始（6月28日まで）	代表機関・共同実施機関
5月28日	令和6年度ダイバーシティ推進センター女性研究者賞募集開始（6月28日まで）	代表機関・共同実施機関
6月20日	熊本大学来学（情報交換会）	武庫川女子大学・ プロアシスト社・奈良女子大学
6月27日	生駒市子育て健康部子育て支援センター、子育て健康部こども政策課との面談	奈良女子大学
7月11日	第38回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関
7月12日	サポーター講習（9/4～11、9/25、10/5、10/15、10/18、12/9、12/14、1/31、2/12）・勉強会（3/17）	奈良女子大学
8月1日	職場体験（1day仕事体験）を実施 （8/5、8/26、9/11、9/19、10/18、10/29、11/8、11/19、12/2、12/17、1/16、1/30、2/14）	プロアシスト社
8月6日	令和6年度ダイバーシティ推進センター女性研究者賞受賞者決定	代表機関・共同実施機関
8月28日	第39回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関
9月3日	令和6年度共同研究スタートアップ支援経費採択プロジェクト決定	代表機関・共同実施機関
9月12日	令和6年度ダイバーシティ推進センター女性研究者賞授賞式	奈良女子大学
9月13日	令和6年度第1回ダイバーシティ委員会開催	帝人フロンティア社
10月	病児保育支援の本格運用を開始	奈良女子大学
10月	教育研究支援員Ⅱ期（10月～3月）を配置	奈良女子大学
10月5日	第8回卒業生座談会「英語をツールにして活躍する本学卒業生のグローバルマインドを語り合う」開催	武庫川女子大学
10月8日	ワークライフバランス支援相談室 ミニ講座オンデマンド配信（10月～2月、全9講座）	奈良女子大学
10月9日	第40回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関
10月28日	子育て応援フェア開催（奈良市子ども育成課・奈良市ファミリー・サポート・センターと共催）（11月1日まで）	奈良女子大学
10月28日	「奈良高専 きららかセミナー」を開催（11/5、11/18、11/25、12/2、12/9、12/20、1/6、1/20）	奈良工業高等専門学校
11月14日	「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」 第5回意見交換会（対面・オンライン）	代表機関・共同実施機関
12月8日	高専女子フォーラムin 関西2024 開催	奈良工業高等専門学校
12月18日	第41回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関
12月22日	女子高専生によるワークショップ開催（イオンモール大和郡山にて）	奈良工業高等専門学校
1月15日	「女性管理職養成プログラム」連携6機関の女性管理職のお話（1/17、1/22、1/24、1/29、1/31）（配信）	代表機関・共同実施機関
1月30日	第42回実務者会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関
2月8日	第13回異分野交流会「つくる」「ふかめる」「ひかる」開催（関西圏女子大学連携プロジェクト）	武庫川女子大学
2月26日	令和6年度総括シンポジウム（対面・オンライン開催）	代表機関・共同実施機関
3月8日	第5回国際女性デー-MUKOJOフォーラム「日本語の歴史からみた女性活躍」開催	武庫川女子大学
3月14日	令和6年度運営委員会・連携機関長会議オンライン開催	代表機関・共同実施機関



お問い合わせ

奈良女子大学ダイバーシティ推進センター

Mail : diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp

https://diversity-center.nara-wu.ac.jp

｜ 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」 ｜

奈良から、関西から、女性研究者の支援を牽引 ～全国に広がれ！ダイバーシティの取組～



Newsletter



奈良女子大学 / 奈良工業高等専門学校 / 武庫川女子大学 / 株式会社プロアシスト / 帝人フロンティア株式会社 / 佐藤薬品工業株式会社

総括シンポジウム

連携が切り拓く新たな視点

ー 6機関連携によるダイバーシティ研究環境実現の成果と展望ー

■ 日時：2025年2月26日（水）14:00-16:15 ハイブリッド開催 参加者：88名（会場：34名、オンライン54名）

2019年度に選定された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」事業は、連携6機関の協力の下で様々な取組を実施し、2025年3月で6年間の事業期間が終了します。この間に、附属病院をもたない機関における「「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築」、「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」、「女性管理職養成プログラム」等の特筆すべき取組を所期の計画を超えて実施することができました。

本シンポジウムでは、代表実施機関の奈良女子大学 高田将志学長より開会挨拶のあと、来賓として、文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室 室長の高見暁子氏と奈良副市長 鈴木千恵美氏のご挨拶があり、続いて連携6機関より6年間の事業報告がありました。引き続き、大学・高専で支援を受けた女性教員からの報告があり、その後、外部評価委員 工藤眞由美氏からご意見をいただき、国立研究開発法人 科学技術推進機構（JST）プログラム主管 山村康子氏より全体講評がありました。最後に共同実施機関の武庫川女子大学の河合優年副学長より閉会の挨拶がありました。外部評価委員のご意見や全体講評では、6機関が連携して本事業にあたっていること、女性教員比率や女性採用比率や女性上位職比率がほぼ申請時の目標を達成していること、数々の支援によ

り、女性教員の研究力が向上して実績が上がっていることが明らかとなりました。今後は、病児・病後児保育支援のさらなる充実と他機関への普及、「関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワーク」の拡大・発展、女性教員比率のさらなる向上、男女ともにさらに研究成果を上げること等が課題です。アンケート結果では、全員（回答数30）が「大変有意義だった」または「有意義だった」と回答しており、「支援を受けて、どのような成果が得られたかを知ることができ、本取組をあらためて理解することができた」「6年間の事業成果を各機関からまとめて知る機会が得られ、有意義であった」など好評でした。



2024年度 共同研究スタートアップ支援

共同研究スタートアップ支援制度は、連携機関の女性研究者が立ち上げた共同研究プロジェクトを支援することにより、女性研究者の研究の進展と、更なる研究力の向上を目指すことを目的としています。

研究代表者 設楽 馨

(武庫川女子大学 文学部 日本語日本文学科・准教授)
共同研究機関：目白大学、武庫川女子大学、(一財)大阪大学後援会

言語文化と異文化接触における横断的探求型プログラムの開発 一日本人学生の間へと、留学生の高度日本語に資するテキスト作成一

研究代表者 鍵本 明里

(奈良女子大学 生活環境科学系 生活健康学領域 助教)
共同研究機関：同志社大学

食肉の焼成に適したLED照明条件に関する研究

研究代表者 本田 智巳

(武庫川女子大学・食栄養科学部食創造科学科・講師)
共同研究機関：立命館大学、関西学院大学

料理の構造化とレシピ設計に着目した『『持続可能な食生活』について考えることをねらいとするワークショッププログラム』開発プロジェクトー食物学・フードアーキテクチャー・言語教育学の視点からー

2024年度 ダイバーシティ推進センター女性研究者賞 ～優秀な女性研究者への支援～

特に優秀な研究業績を上げ、今後の研究の発展が期待される女性研究者に、研究費を支援するダイバーシティ推進センター女性研究者賞の令和6年度の採択者は以下の方です。受賞者には研究費が支援されました。

宮路 淳子氏 (奈良女子大学研究院人文科学系 教授 専門分野：考古学)

「先史日本列島における人獣共通感染症の起源に関する環境考古学的研究」



奈良女子大学 女性研究者賞 授賞式
(左から：星野教授、宮路教授、高田学長)

9月12日に奈良女子大学で授賞式が行われ、ダイバーシティ推進センター長である高田学長が表彰状を授与し、「宮路先生は奈良に関わる重要な学術的研究に携わってこれ、奈良にある本学としても誇れる研究成果を挙げておられる。今後とも研究を中心に活躍いただき、続けて研究成果を挙げていただくことを心より期待しております。」と、これからの研究活動に対する期待が述べられました。

「訪問型」病児・病後児保育のモデル構築に向けて ー奈良女子大学・進捗状況の報告ー

2021年4月10日より病後児保育の試験的運用、2023年4月より病後児保育の本格運用、同年5月より病児保育の試験的運用が始まり、2024年10月より病児保育の本格運用を行っています。病児・病後児保育の利用登録者は14名(奈良女子大学教員11名、職員2名、奈良工業高等専門学校職員1名)、サポーター登録者は25名と大きく増加し、これまでの実施実績は16件となり、すべて安全に託児支援が行われました。2024年度は、専門家(小児科医、看護師、保育士)を入れたWG会議を4回開催し、病児保育支援の預かり基準や手続きおよび手続き書類の改善等について検討しました。かかりつけ医訪問・面談を4回実施し、現在は13の小児科医院と連携をとっています。サポーター養成のために、通常(健康時)託児講習(12h)、病児・病後児保育講習(10h)、フォローアップ講習は4講座を開講し、その一部は武庫川女子大学や奈良市ファミリー・サポート・センターとの共催で実施しました。サポーター登録説明会は4回、利用者登録説明会は3回開催し、また、利用者に専属サポーターを追加するなど病児保育支援が利用しやすくなるよう整備しました。さらに、2024年度も奈良市子ども育成課と奈良市ファミリー・サポート・センターとの共催で、サポーター募集に向けた「子育て応援フェア」を開催し、子育て支援活動の充実を図りました。奈良工業高等専門学校と武庫川女子大学の利用者による「ならっこネット」の共同利用は継続して行っており、子育て支援システムの地域への普及のモデル構築として、プロアシスト社とWebシステムの開発も引き続き行われています。

明確な役割分担で多様な持ち味を活かす

研究環境整備

武庫川女子大学

病後児保育支援に向けてHUGくみサポート(イベント託児)の開始

西宮市での新たな保育システム構築に向けて、武庫川女子大学でのイベント開催時の健康児を対象とした託児(HUGくみサポート)を開始しました。また、病後児保育支援の構築のため、病児・病後児WG会議(計11回)を開催し、「訪問型」病児・病後児保育について協議し、サポーター対象のフォローアップ講習を奈良女子大学と共同開催で実施しました(10/31)。さらに、奈良女子大学と連携して、奈良女子大学の病児・病後児保育支援講習(オンデマンド配信)の受講により、病後児サポーターの養成を行いました。

武庫川女子大学

研究支援員の配置

研究支援員制度により、2名の女性研究者に研究支援員(内1名は女性管理職支援)を配置しました(4月)。

奈良女子大学

教育研究支援員の配置

2024年度Ⅰ期(5月ー9月)に11名の教員に支援員を配置、Ⅱ期(10月ー3月)に12名の教員に支援員を配置しました。

奈良女子大学

ワークライフバランス支援相談室の共同利用

参加申込者：347名(代表機関280名、共同実施機関67名)

今年度から、相談者の利便性を考え、開室時間を15時ー18時に変更しました。10月ー2月にミニ講座(計9回)をオンラインで開催しました。産婦人科医、助産師/看護師、社会福祉士の各カウンセラーより、「月経に関する新常識」「介護保険制度で利用できるサービスを知っていますか」「更年期を快適に」などについてお話がありました。共同実施機関からも多数の参加がありました。



佐藤薬品工業株式会社

男性育休に関するリテラシー向上と環境整備

男性育休に関する勉強会開催後、リテラシー向上を図る取組を継続して実施し、2024年度は3名の男性育休の取得がありました。今後も、男性が育休取得しやすい環境整備を続けていきます。

奈良女子大学

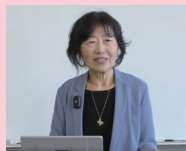
「知る・学ぶ・伝えるequality連続講座」

「持続可能な未来に向けて～どんな出産をしますか」

●2024年10月28日(月)ノオンライン開催

参加者：94名(オンライン配信40名、オンデマンド配信54名)

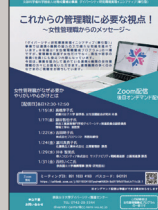
講師：松岡 悦子氏(奈良女子大学名誉教授、2024年度第34回南方熊楠賞受賞者)
松岡氏は、インドネシア、韓国、中国、バングラデシュなどで出産に関する現地調査を多数行い、世界の出産について研究してきました。講演では、出産の模式や出産についての考え方は多様であり、そこに優劣はないことが重要であるとし、様々な事例が紹介されました。そこから見てくることは「女性は自分で産むことができる」「出産をコミュニティ全体で支えること」の重要性が指摘され、一方で出産の近代化(医療化)が世界的に進んでいること、帝王切開の世界的な増加が見られることが指摘されました。医療介入が多いと、出産の主役が女性でなくなるという問題提起がなされ、最後に、正常な出産と女性の選択を中心に据えた出産政策の必要性が指摘され、女性と助産師を中心にした未来に残したい出産についてまとめられました。



女性管理職養成プログラム～ロールモデルの話～

視聴者：6日間でのべ179名、オンデマンド配信再生回数 のべ約100回

女性管理職養成プログラムは3つの部分から構成され(①牽引型事業の取組内容、②それぞれの機関における研修、③女性管理職ロールモデルの話)、令和6年度はこれらを6機関で引き続き構築し、意識啓発のために各機関の女性管理職の方々にインタビューを行い、「管理職として心掛けていること」「管理職のやりがい」等について貴重な意見をうかがうことができました。ロールモデルの話では、武庫川女子大学 高橋享子氏(1/15)、奈良工業高等専門学校 顯谷智也子氏(1/17)、プロアシスト社 吉田明子氏(1/22)、佐藤薬品工業社 濱川真貴子氏(1/24)、帝人フロンティア社 沖本智美氏(1/29)、奈良国立大学機構 西村いく子氏(1/31)によるお話を配信し、大変好評でした。



研究者の研究力向上支援

関西圏女子大学連携プロジェクト

第13回異分野交流会

●2025年2月8日(土) 参加者：33名

武庫川女子大学が主幹校で「第13回異分野交流会」を対面で開催し、8件の多様な研究発表が行われました。研究者の新たな共同研究や協力体制の立ち上げを支援する「共同研究シース発掘支援経費」の募集も行いました。



奈良女子大学

研究スキルアップ支援

2024年度も女性研究者を対象に、スキルアップ支援(国内外学会参加経費支援、英文校閲費用支援)を実施し、学会参加支援12件、英文校閲支援9件を採択しました。

武庫川女子大学

研究スタートアップ支援講座の開催

研究スタートアップ支援講座「英語コミュニケーションセミナー」を対面で実施し(10/26、参加15名)、多くの女性研究者が参加して研究力向上を図りました。

リーダー育成・上位職への積極登用

奈良工業高等専門学校

「奈良高専きららかセミナー」の開催

研究力向上および次世代のリーダー養成のために、リーダーに求められる資質と意思決定の思考プロセスを学ぶ「リーダーシップと意思決定」の公開講座を開催しました。

武庫川女子大学

女性管理職への支援

女性管理職対象の研究支援員制度を運用し、1名の女性管理職に研究支援員を配置しました。

佐藤薬品工業株式会社

管理職を目指す社員を育成

管理職教育として、女性も含めて管理職候補を対象に思考行動変革プログラム全3回を実施しました。意識啓発や組織改革等を図るための取組として、若手活性研修、中堅活性研修を実施しました。女性採用の高い比率のキープも図っています。

株式会社プロアシスト

「女性活躍ステージ拡大」

「女性活躍ステージ拡大」のテーマのもと、女性のコミュニティ形成、勉強会、管理職や役員への登用の課題について検討し、施行、改善へと推進しています。若手理系人材研修(4/18キックオフ)を実施し、スキルアップセミナーを継続して開催しています(月1回程度)。女性採用比率アップに向けて、1day職場体験などの取組を実施、また、登用のためのチャレンジ制度を改良したので、女性チャレンジ者が増加しました。産休・育休中や復帰後の女性社員のキャリア形成が進めやすい環境づくりも整備しました。

ダイバーシティ研究環境実現方策の地域への普及

奈良工業高等専門学校

地域への発信

高専女子フォーラムin関西2024が開催され、ポスター発表を行いました(12/8)。イオンモール大和郡山にて、女子高専生によるワークショップが開催されました(12/22)。

株式会社プロアシスト

大阪市女性活躍リーディングカンパニー継続認定

プロアシスト社は、女性活躍に積極的に取り組む企業として「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」に認証され(2024年2月)、2027年1月31日まで継続しています。

2024年度総括シンポジウムについて外部評価の実施

外部評価委員の先生方に、2024年度総括シンポジウムについて、ご意見と評価をいただきました。「6機関が連携してダイバーシティ研究環境実現に取り組まれ、女性研究者の研究力向上をはかり、女性研究者比率、管理職比率の向上を実現しておられることは素晴らしいです。特に、「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築に関しては、高く評価されます。これは国内初の試みであり、他機関からも注目されています。今後もダイバーシティ研究環境実現を強力に進められることを願います」などの高い評価をいただきました。